

吹田ラグビースクール指導の考え方について

指導委員長 村田

2021 年度は練習に交流会や大会など、2020 年度に比べると活動が少しずつ戻ってきましたが、依然として新型コロナウイルスの影響が続いています。ラグビーがしたい子ども達にとっては非常に辛い 1 年となったと思います。

その中で、各指導員には時間や練習スペースの制約が多い中でも、子ども達の事を考えて指導いただきありがとうございました。また、保護者の皆さまには、活動の継続にあたり、新型コロナウイルス感染防止対策にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

2022 年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最大限取り入れつつ、子ども達の成長のために指導員・保護者一体となって、子ども達の目線に立って、取り組んでいきたいと考えています。

【吹田 RS 指導の考え方の根っこ（不変）】

テーマ：安全なプレー = 正しいプレー = 強いプレー

指導員 3 大ミッション（全学年統一）

- 安全にプレーさせるために、正しいプレー・ルールを理解して指導する
- こども 1 人ひとりに目を向け、こどもの成長に合わせて指導する
- 指導員自身の成長が、こどもの成長に大きく影響することを理解して指導する

【2022 年度主な取り組み】

○1 年間の目標設定

新型コロナウイルスの影響が続いていますが、1 年間の目標を話しあい、目標達成に向けた計画を設定しましょう。

○1 人ひとりにあった指導

昨年度同様、練習機会が減っている中でも、焦らず、これまで以上に子ども 1 人ひとりに目を向けて、その子がどうすれば成長できるかを考えて指導しましょう。

○安全特化メニューの継続

吹田 RS の根っこである安全なプレーに、全指導員がこだわりを持って指導しましょう。

また感染拡大防止の安全面（手洗い・うがいや消毒の徹底など）にも取り組んでいきましょう。

指導員3大ミッション（全学年統一） 下記のポイントを意識した練習を考えましょう

安全において求めるプレー	実践のためのポイント
◎体の芯で当たる ・頭を下げない ・顔が逃げない ・姿勢が真っすぐ	◇頭を下げないためには ⇒相手を見る ⇒肩ではなく胸を当てる ⇒そのためには足を近づける ◇顔が逃げないためには ⇒相手を見る ⇒自分の耳を相手の体に密着させる ◇姿勢を真っすぐにするには ⇒足を真っすぐ踏み込む ⇒相手と同じ胸を当てる
◎ケガをしない倒れ方 ・頭を打たない ・手をつかない	◇頭を打たないためには ⇒倒れるときにおへそを見る ⇒体を横に向ける ◇手をつかないためには ⇒お尻や体の側面から倒れる

○制限事項について

ローヘッドや飛び込みタックルによる腕・肩等の負傷を考慮し、腰より下にタックルする練習は高学年からとします。理由として子どもは体幹と四肢の筋力（特に下肢）がないこと から、膝を曲げて強い姿勢を作ることが困難であるためです。

<こどもを成長させるための取組みイメージ>

